

令和4年度 市民の声一覧(下半期公表用)

受付月	区分	件名	市民の声	回答(対応)内容	担当課
11月	健康・医療・衛生	オーテピア西敷地でのペット販売について	〇〇ペットショップ開催のペット販売に関する情けない対応に怒りを感じます。 今、インスタで大反響です。 なぜ販売を許可したのですか。 国の機関にも連絡させていただきました。 あの子達はものではない、命です。 断固抗議いたします。 殺処分を無くすことを考えてください。	保健所は「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく「第一種動物取扱業」に係る「展示販売」の申請に基づき許可を出しております。 ご意見をいただきましたように、犬猫移動販売については、動物に与えるストレスや安易な飼育の誘発、購入後の消費者トラブルなど課題があり、過去にも悪質性の高い販売が行われるなど社会的問題となっております。 そのようなことから、令和元年度の動物の愛護及び管理に関する法律の改正において、第一種動物取扱業による適正飼養を促進し、動物の健康と安全を守り生活環境を保全するために規制内容を充実させたものと認識しております。 動物販売の申請がありましたら、適正な取り扱いがなされているかなど、監視指導に努めてまいります。	生活食品課
12月	健康・医療・衛生	新型コロナウイルス罹患後の症状対策について	コロナウイルス流行第8波が始まってしまいましたが、高知市における罹患後症状の対応について現状報告を兼ねて、早急な対応をお願いしたいと思います。 いわゆる「コロナ後遺症」は、主に倦怠感などがひどくなり最悪の場合寝たきり、良くて家庭で皿洗い程度はできても働くことができない場合が多い状態です。 現在、高知市でコロナ後遺症を掲げて診療してもらえる病院は私の調べたところ一か所しかありません。 厚労省の手引きに従って私の場合は神経科にまずかかるという事でしたが、いずれの病院もコロナ後遺症は受け入れできないとのことでした。 多くの症状に効果があるとされる上咽頭擦過療法ができる耳鼻科は4か所ありましたが内3か所はコロナ後遺症対応ではない、あるいは受け入れできないとのことでした。 また、県が委嘱している専門外来のある高知大学附属病院はまず3か月症状が継続しないと予約すら取れず、予約が取れても受診は数か月先とのことでも療養ができる体制はできているという状態にはありません。 後遺症は最初の2か月が肝心と言われているにも関わらず、この現状では、悪化させてから診療開始するという最悪の状況と言わざるを得ません。 せめて、市内の病院に対して厚労省の手引きに従った療養体制が取れるように、市が率先して指導や研修を行って療養環境を整えなければ、後遺症が重症化して労働できる人口が減っていくこととなります。 そのことをよく考えていただきたいです。 また、労働環境、教育環境も後遺症に対する理解がないため、後遺症患者への偏見や無知による解雇や教育機会からの排除が危惧されています。 こちらも早急に対応が必要です。 本人自身もコロナ後遺症と気が付いていない方もいるはずですし、ワクチン後遺症についても同様に増加していますので、こちらも対応する必要があります。 更に、後遺症を患う割合は全感染者中の1割という数字があります。 これは産業基盤の脆弱な高知市において労働人口が現状でも5,000人程度が働けなくなる可能性があるということです。 今後第8波以降の感染者の増加を計算に入れると、とんでもない事態と言えます。 労働人口の減少は産業の非効率化、税収減、賃金減少、解雇増、消費減退、不景気、社会保障費の増大、行政サービスの質、量的低下を招き、良い療養環境、良い行政サービス、良い労働環境を求めて県外への労働人口流出を繰り返すという恐ろしい悪循環の渦に巻き込まれ、高知市はひとたまりもなく沈没することになるでしょう。 現在の市の施策では、この事態を止めることは到底できません。 今すぐに医療、精神、福祉、労働、法曹、産業のエキスパートを集めたチームを立ち上げ、有効な対策を取らなければ、高知市の沈没する様を見届けるか、県外に脱出するかを選択を迫られることになるでしょう。 一刻も早い行動をお願いいたします。	新型コロナウイルス感染後の後遺症についてご指摘をいただきましたが、現在は高知県において後遺症外来として1か所しかないのが現状です。 後遺症外来を受診していただくにあたり、まずはかかりつけ医での診療と相談を継続していただき、かかりつけ医より専門の後遺症外来を紹介受診という流れになっております。 しかし、ご意見にもありましたようにコロナウイルス流行の第8波といわれる状況下では、医療機関の逼迫も既に起こっており早急に新たな対応がとれる状況にはありません。 市民の皆様が安心して療養後の生活ができるように、療養後の体制の整備についても医療体制全体を担う高知県とも連携をして取り組んでいく必要があると考えております。	地域保健課